

一般社団法人日本母性看護学会研究助成申請書 記入上の留意事項

1. 研究の概要

研究計画の冒頭に研究の概要を簡潔に記述する。

2. 研究の背景

- ・本研究に関連する国内外の研究動向及び位置づけについて、文献を適切に引用して記述する。
- ・これまでの研究成果を踏まえて着想に至った経緯を記述する。
- ・これまでの研究結果を発展させる場合は、どのように発展させるか記述する。

3. 研究の目的

- ・研究助成を受けて行う研究期間に、何をどこまで明らかにするのか明確に記述する。
- ・研究の意義について、研究成果の社会的・学術的価値や重要性を明確に記述する。

4. 研究計画・方法

- ・1年間の研究助成期間に遂行可能な研究計画としてください。すでに取り組んでいる研究の場合は、研究全体における、研究助成を受けて行う部分の計画を明確に記述する。
- ・研究対象者の規模（数）、選定方法、募集方法などを明確に記述する。
- ・研究目的を達成するためのデータ収集およびデータ分析方法について明確に記述する。
- ・具体的な研究計画、研究体制を示し、研究の実行可能性を記述する。
- ・研究目的、研究計画に照らして、合理的かつ妥当な経費の見積りを記述する。
- ・研究を遂行する際に、どのような倫理的側面の問題があり、どのような倫理的配慮を行うか記述（倫理審査委員会の承認を得ている場合であっても）する。

5. 予測される結果

6. 研究助成金の内訳

次の経費は認められない。

- ・助成を受けた研究成果報告を行わない学会参加の場合の旅費。
- ・学会参加に関する登録料（参加費）。
- ・研究機関等に設置されている備品等
- ・金券（クオカードや図書カードなど）については受領書を得る。

※所属機関へ支払うオーバーヘッド（間接経費）については、助成対象者として決定された後に所属機関内で免除手続きを行うこと。

※使用できなかった助成金（残金）は返金する。その際の振込み手数料は助成を受けた方の個人負担とする。